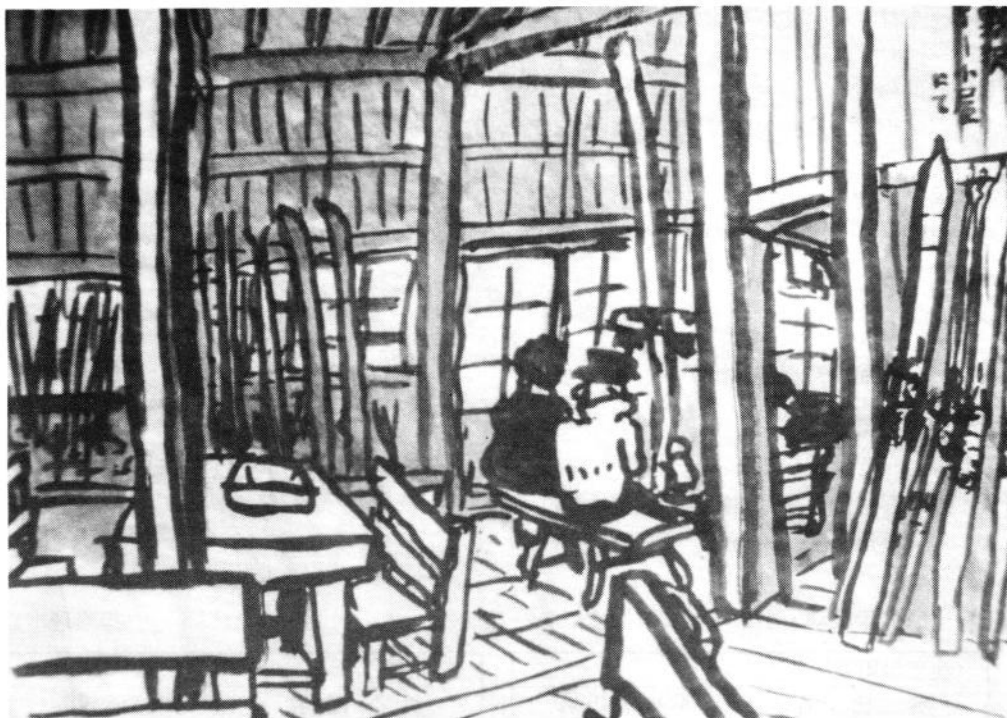


# 西多摩医師会報

創刊 昭和47年7月

第269号 平成7年5月



『スキー小屋にて』 石井好明

## 目 次

	頁		頁
1. 理事会報告	広報部 … 2	6. 地区だより	
2. 会員通知・医師会の動き	事務局 … 5	福生地区	玉木一弘 … 12
3. 各部だより		檜原地区	広報部 … 12
学術インフォメーション	学術部 … 7	7. 理非曲直	
4. 文芸随筆諸事百般		総会は、会員の意向を反映し得るか？	
しゃらの木 一枝くださいな		中村 武 … 13	
安富一夫 … 10		8. お知らせ	事務局 … 14
5. グルメ探訪		9. 表紙のこぼれ	石井好明 … 15
フランス菓子『ラパン・アジル』		10. あとがき	… 15
片平潤一 … 11			

# 理事会報告

★ Information

4月定例理事会

平成7年4月10日

西多摩医師会館

## 【1】 報告事項

- (I) 総務会報告 (真鍋理事)  
4月5日開催、5月までの日程、東京労働保険医療協会評議員推薦等について、協議す。
- (II) 各部報告 (担当部長)  
(学術部) 生涯教育申告者は現在53名、昨年同様でもっと申告していただきたい。
- (III) 各地区会よりの報告 (各地区理事)  
(福生) 4月4日 総会、平成7年予算、西医総会報告等行った。  
(羽村) 4月11日 総会予定。

## 【2】 報告承認事項

- (I) 入会会員について — 承認 — (真鍋理事)
- (II) 東京都労働保険医療協会評議員推薦について ( " )  
宮川栄次 会員(再任)を推薦する
- (III) 平成7年度幼・小・中学校医推薦について (担当理事)

〈奥多摩町立〉	
学校名	学校医氏名
古里小学校	皆川俊一
氷川小学校	川辺隆道
小河内小学校	川辺昌道
古里中学校	皆川俊一
氷川中学校	川辺隆道
小河内中学校	川辺昌道

〈青梅市〉	
幼稚園名	幼稚園医氏名
ねむのき幼稚園	野本正嗣(新規)

## 【3】 協議事項

- (I) 平成7年度第1回定時総会の日程について (真鍋理事)
- 5月27日(土) 平成7年度第1回定時総会 於て「西多摩医師会館」pm2:00**
- 4月25日(火) (定例理事会に平成6年度各部事業報告資料を配布)
- 4月26日(水) 経理部会(平成6年度収支計算について)
- 4月28日(金) 監査会(平成6年度収支計算の監査)
- 5月8日(月) 定例理事会(平成6年度事業報告並びに収支計算について承認を受け  
る。—付監事監査報告—)
- 5月17日(水) 総会資料発送

## 4月定例理事会

平成7年4月25日

西多摩医師会館

## 【1】 報告事項

## (1) 第218回(臨時)代議員会報告

(宮川代議員)

4月25日2時より都医にて開催、会長、副会長、理事、医道審議委員選出を行った。

## 東京都医師会役員一覧表

(順位は抽選による)

## ◎会長(定員1名)

福井光壽 72歳 [略歴] 慶応大卒、開業、元深川医師会長、都医会長、日医代議員

## ◎副会長(定員2名)

小泉乙也 69歳 [略歴] 慶応大卒、開業、元府中市医師会長、都医副会長、日医代議員

安藤昭四郎 66歳 [略歴] 日大卒、開業、元江戸川区医師会理事、都医副会長、日医代議員

## ◎理事(定款第12条第3項による)(定員1名)

寺島芳輝 65歳 [略歴] 慈恵会医科大卒、前慈恵会医科大学教授、慈恵医師会理事

## ◎理事(定員11名)

唐澤祥人 52歳 [略歴] 千葉大卒、開業、墨田区医師会長、都医監事、日医予備代議員

柳内嘉 64歳 [略歴] 東大卒、開業、元南多摩医師会副会長、都医理事、日医代議員

高橋寛男 66歳 [略歴] 東京医大専卒、開業、前新宿区医師会長、都医理事、日医代議員

櫻井秀也 57歳 [略歴] 慶応大卒、開業、元日本橋医師会長、都医理事、日医代議員

中村弘夫 62歳 [略歴] 東北大大学院卒、開業、前多摩市医師会長、日医予備代議員

静谷晴夫 64歳 [略歴] 東京医科歯科大大学院卒、開業、元豊島区医師会長、都医理事、日医予備代議員

木村佑介 52歳 [略歴] 東京医大卒、開業、都医理事、日医予備代議員

山田統正 57歳 [略歴] 慈恵会医科大卒、開業、港区医師会長、都医代議員、日医予備代議員

阿部士良 68歳 [略歴] 東京医大卒、開業、元北多摩医師会副会長、都医理事、日医予備代議員

- 佐々木 健 雄 66歳 〔略歴〕金沢医大卒、開業、元葛飾区医師会長、都医理事、日医代議員
- 森 満洲雄 62歳 〔略歴〕久留米大卒、開業、元町田市医師会理事、都医理事、日医予備代議員

## ◎監 事 (定員2名)

- 久 米 和 夫 68歳 〔略歴〕東京医大専卒、開業、前江戸川区医師会長、日医代議員
- 宮 崎 節 生 71歳 〔略歴〕京都府立医大卒、開業、前品川区医師会長、日医代議員

(II) 各部報告 (担当部長)  
 (学術部) 生涯教育申告率は37% (昨年25%) であった。今後の御協力を。

(III) 各地区会よりの報告 (各地区理事)  
 (秋川) 五日市との合併について、両地区の打合せを行ってゆく予定。

(V) その他 (真鍋総務部長)  
 5月9日に、西多摩三師会準備会を行う。

## 【2】 報告承認事項

- (I) 入会会員について — 承認 — (真鍋理事)
- (II) 保育園医推薦について — 承認 — (担当理事)  
 古里保育園 皆 川 俊 一 会員

## 【3】 協議事項

- (I) 老健施設について (真鍋理事)  
 老健施設から、レセプト請求が、西多摩医師会を通じて行われている。今後は独立した医療機関とみなされる場合は入会金及び会費を徴収する。現存の医療機関に併設される等、同一機関とみなされる場合については、理事会にて協議する。
- (II) 医師会活性化について (真鍋理事)  
 新入会員の歓迎会を6月に実施予定とする。
- (III) その他  
 秋川・五日市の合併に伴う対応について  
 ★ 定款施行規則検討委員会を設置し協議する。

## 会員通知

- 西多摩医師会総会報告
- 学術講演会
- 第24回日本医学会総会における日本医師会認定産業医制度の研修単位修得証明の手続きについて
- 日本医学会総会における日医認定スポーツ医更新のための研修単位修得証明の手続きについて
- 医療法施行令等の一部改正について
- 性病患者届出等について
- 阪神・淡路大地震に対処するための財政援助及び助成に関する法律における一部負担金の支払の免除の特例について
- サンヘルズ4、5月号合併号のお知らせ
- 第24回日本医学会総会誌予約申込のご案内
- 特殊疾病（難病）患者の治療及び生活指導の手引
- 東京都特殊疾病（難病）患者診断手引
- 第46回十三大都市学校保健協議会各科学校医研修会及び懇親会の開催について
- 第26回全国学校保健、学校医大会の開催について
- 阪神・淡路大震災に係る診療報酬等の算定方法等について
- 老人保健分診療報酬明細書の一部負担金額の取り纏い等について
- 腹腔鏡下手術に係る診療報酬の取扱いについて
- B型肝炎母子感染症防止に係る保険診療上の取扱いについて

## 医師会の動き

医療機関数	179	病院	28
		診療所	151
会員数	373	A会員	171
		B会員	202

### 会議

4月5日	総務会
10日	理事会
18日	各保健所長・課長との懇談会
19日	新規指定保険医療機関指導
20日	在宅難病訪問診療調整委員会
24日	会報委員会
25日	理事会
26日	経理部会
28日	監査会

12日 学術講演会

講師：杏林大学第2内科講師  
柳澤厚生先生

演題：日常診療に役立つ最新学  
会情報Q&A—動脈硬化  
症

〃 法律相談

〃 内田萬治先生「医療功労賞」  
祝賀会

25日 学術講演会

講師：東京医大八王子医療セン  
ター循環器内科  
内山隆史先生

演題：「Coronary Intervention  
の現況—PTCAとNew  
Device、血管内エコー  
について」

### 講演会・その他

4月8日 整備会

各部だより



学術部

Infomation



## 《5月の学術講演会》

① 5月17日(水) 7<sup>30</sup>pm～ 於：ホテル福生国際会館（日本医師会生涯教育講座）

演題名：「C型慢性活動性肝炎に対するIFNの  
最新治療法と話題」

講 師：青梅市立総合病院消化器科部長 宮 川 八 平 先生

宮川先生は、1977年東京医科歯科大学医学部卒業、同大第2内科入局、1981年～84年ニューヨークのAlcohol Research & Treatment Centerに留学、消化器病学を専門にされています。本年1月から青梅市立総合病院消化器科部長に就任されました。今回は、先生の数多い御研究の中から、「C型肝炎」について御講演していただきます。

### 〈学術講演会聴講メモ (1)〉

平成7年3月23日(木)

演題名：循環器疾患の診断と治療シリーズ vol. 3

「動脈硬化症の治療：最近の考え方を中心に」

講 師：西東京警察病院循環器内科部長 桑 木 綱 一 先生

高脂血症の治療目的は、①合併症の予防、と②死亡率の減少である。このために高脂血症治療薬が有効であることは、様々なstudyで証明されている。動脈硬化の進展は、①内膜内皮の損傷－泡沫細胞（マクロファージが脂肪を取り込んだもの）－内膜の肥厚、②脂肪のプール－栄養障害－線維性瘢痕形成（ここまでは加齢とともにみられる変化）、③何らかの原因で亀裂発生－血小板附着（血栓形成）＝unstable plaque、という事である。

冠動脈硬化の診断法には、冠動脈造影法・血管内エコー・血管内視鏡がある。

高リポ蛋白血症（高脂血症）の治療目標値は、T.cho 200mg/dl（合併症あるときは180mg/dl）、TG 150mg/dl、HDL 40mg/dl、LDL150mg/dl、としている。家族性高コ

レステロール血症・高コレステロール血症・内因性高トリグリセライド血症・二次性高脂血症(糖尿病・肥満・ネフローゼなど)の説明。治療薬も多数あるが、理想的なものは、マクロファージからコレステロールをはき出せる薬である。初診時ルーチン検査として、T.cho、HDL、TG、リポ蛋白分画を実施、高脂血症を分類し、治療薬を選択する。その他、アポ蛋白・Lp(a)・レムナント様リポ蛋白(RLP-c)などを検査し、冠動脈疾患のリスク判定などを行っている。

(小机)

### 〈学術講演会聴講メモ(2)〉

平成7年3月29日(水)

演題名:「AIDS、アメリカの対応」

講師:青梅市立総合病院診療局次長 宮崎 崇先生

サンフランシスコの市内だけで、2万人を越えるAIDS患者がおり、死者の数はすでに1.3万人に達するという。1980年代の偏見に満ちたセンセーショナルな取り上げ方から抜け出して、幾多の支援プログラムを作り出し、総力を結集せんとしている今のアメリカ、その姿勢に我々が学ぶべきものは多い。

聞くところによれば、世界には小さな町の住民の9割以上がHIVに感染しているところもあるという。最早、他人事との意識を捨て、十分な、かつ正しい知識を取得して、賢明に対処すること無くしては、人類にとって重大な危機ともなりうると叫ばれる理由もそこにある。

例えば、自分の身近な人にAIDS患者がいたとしたらどうであろうか。ホモの病気だからとか、遊んだ天罰だとか言って知らん顔できるのだろうか。一般の病院や医院が診療を避けている現状を家族として黙って受け入れられるであろうか。また、一般の人に何ができるであろうか。

今回のアメリカでの視察によって、そのような医療の原点ともいべき部分に触れることができた。

### 〈学術講演会聴講メモ(3)〉

平成7年4月12日(水)

演題名:「日常診療に役立つ最新学会情報Q&A—動脈硬化症」

講師:杏林大学医学部第2内科講師 柳澤厚生先生

今回の講演会は、本年3月ニューオリンズで開かれ米国心臓病学会最新レポートの中で特に興味深いTOPICSについてのQ&Aであった。

その中でも私自身胸が痛くなった話題を少し紹介します。

コメントには私の感想も入っています。

「確定申告の締切が近づくと心筋梗塞が増える!？」

— 納税への恐れと怒りで血圧も上昇すれば血小板凝集能も上る。でも少しづつ慣れてきました。

「スピーチであがると心臓の血管は収縮」

— 無理なスピーチは禁の由。

「心筋梗塞になった若い男女を調査した。男ばかりで女はいない。加えて男の40%に離婚歴があった。」

— 女はやはり強いのです。しかし、離婚後心臓発作の危険性が減少することもあると思いますが……。

「となりでタバコを吸われると心臓の血管がキューと細くなる」

— タバコ好きの私でも、狭い飛行機の座席でとなりの他人が吸うタバコはキライです。自分が吸うのはスキです。

「親の喫煙で子供の善玉（HDL）コレステロールが低下する」

— 少し胸が痛みます。しかし、私の親もヘビースモーカーでしたが私は元気です。

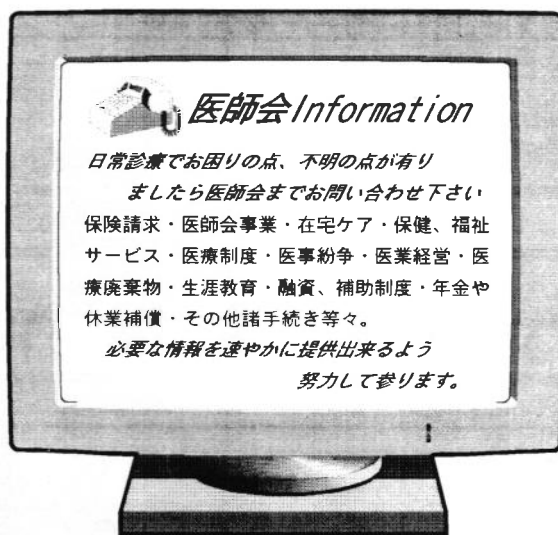
「ベジタリアンの食事と軽いアルコールは心臓病のリスクを減らす」

— 肉、玉子を食べないそうです。昔の日本半農半漁の村の食生活が理想でしょうか。

これで何年長生きするのでしょうか。焼肉ジュージュー、生ビールグイグイ、やめられますか？

以上、一部の紹介でしたがストレスとタバコ、動物性脂肪の危険因子ばかりの先生方、御注意下さい。

(馬詰)





# 文芸随筆諸事百般

## しゃらのき 一枝くださいな

安 富 一 夫

祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり。

沙羅双樹の花の色、盛者必衰の理を表す。これは鎌倉時代の語り物、平家物語の序章で、誰もが一度は暗唱に努めた名文である。

平治の乱で戦功のあった平清盛をはじめ平家一門は栄華を極めた。後白河天皇を中心とする反平家分子による鹿谷事件がおこり、時期到来と源頼朝ら源氏一統が台頭した。

木曾義仲の襲撃を受け都落ちした平氏は一の谷・屋島の合戦で源義経に敗れ、ついに文治元年(1185)壇ノ浦で全滅した。それを12巻に収めたのが平家物語である。

沙羅双樹は本来インドが原産の喬木である。この花は白く美しいが開花すると間もなく凋む。平家の栄華盛衰をこの花になぞらえたのである。

沙羅双樹は日本で育つような樹ではないが、日本にそれによく似た白い花の咲く木があったので、これを誤って「しゃらのき」、「沙羅」と名付けた。「なつ椿」ともいうと牧野富太郎の日本植物図鑑に書いてあった。誤ったのではなく、わざとそのような名前をつけたと私は思っている。直径が5センチもある一重の白い花が初夏に咲く。まことに美しく涼しげであるが、この花も沙羅双樹の花に似て開花すると間もなく凋む。そこで本当の沙羅双樹の花を知っている日本人が委細承知の上でこれを、「しゃらのき」「沙羅」と名付けたのであろう。

お釈迦様が涅槃の時、四方から守るように立っていた四本の沙羅双樹が時ならぬ白い花を咲かせたという。そんな因縁のある木であるから、お寺の庭樹として植えてある。五日市の開光院というお寺に二百年を経た沙羅があり、花見の人で賑わったというが、残念ながら枯れたそうである。丈夫な樹であり、虫も付かないから庭樹として一般の家庭でも植

えてあるのを時々見る。

私は駅から病院までの15分の道は歩く事している。途中に「しゃらのき」が植えてある家がある。ここの「しゃらのき」はよそと違って大きな花が咲く。この花が咲く時期になると毎日が楽しくなり、この道を歩きなれて良かったと、つい思ってしまう。咲いた花の命は短い、次々に沢山咲くので長い間その美しさを楽しませてもらえる。

花が終わると固い実ができる。最初は青いが晩秋になると枯れた色になる。内部は小部屋に仕切られ小さな茶色の種子がギッチリと詰まっている。これを撒けば「しゃらのき」が生えてくると思った私はその実を集めた。努力の甲斐もなく、いつも空振りで何年撒いても芽は出なかった。

幸いなことに病院の事務に植物大好きという職員Aさんがいるのに気がついた。年輩から考えても相当な経験を持っている人であると思い「先生になって」とお願いしてみた。

Aさんは「種子が駄目なら、挿し木でやってみましょう」という話が決まった。挿し木という手があるとは今まで気がつかなかった。流石に先生の貫禄である。



目的の家は通勤途上にある。挿し木の時期になったらお尋ねし、一枝頂くお許しを願うことに決め、毎日枝先の新芽の状態を観察し続けた。

種蒔きの二の舞かなとか、今度は専門家の先生が付いているのだから間違いは無いだろうとか、まだ何も始まらないのに私は気がもめて仕方がなかった。

「そろそろ良い時期になりました。新芽の様子はどうです」と聞かれたが、はてどんな具合かと改めて良く診察をし報告したら「では良いでしょう」と先生のお許しがでた。

さっそく吉日を選んでお尋ねした。これまでの事情を二人のお嬢さんと息子さんに話し

て「一枝頂きたいが」とお願いした。最初に「両親只今不在」と聞いたので、今日は駄目かとひそかに心配していたが、このお三方から即決で「よろしい」とお許し頂いた。これは案ずるより生むが易いの諺どおりの結果で、やはり本日は吉日であった。早速、A先生に報告したら、それは良かったと一緒に喜んでもらった。

一日水揚げをして秘密の薬と優れた技術で容器に植え、ビニール・フィルムで被覆して日陰に置いた。「しゃらのき」幼稚園が出来上がったのである。「丈夫に育ってくれ。期待してるよ」と祈る気持ちで見守っている毎日である。



### グルメ探訪 フランス菓子

### ラパン・アジル



おしゃべりうさぎという意味で、フランスのシャンソン小屋の名前から取ったそうです。青梅ではみんなラパアジルと呼んでいるみたいですが、青梅警察署近くのしゃれたエントランスを持つケーキのお店です。まだお若いご主人は神戸や京都など主に関西で修行なさってきたという事で、味は濃厚でいながら微妙な味わいがあり、しかも上品な所が若い女性の間で圧倒的な支持を受けている理由でしょうか。ご主人は「私が食べたいと思うものを作っています。」とごくあっさりおっしゃいます。お勧めはタルト・ショコラ、ペリゴール、クレーム・ドゥ・プリュレ・パッション（私の家内はこれが大好きです）。奥様方にまだご存じでない方がいらっしやいましたら、是非一度どうぞ。7月からプチカフェも再開します。

(片平)



## 地区だより

### 福生地区 お花見懇親会

4月11日(火)午後6時より福生地区恒例の『お花見懇親会』が福生市石川酒造『雑倉』で開催された。この会は例年、福生市三師会の方々を招いて開催されているが、本年6月に予定されている西多摩三師会の設立を控え、今年も美酒にうながされ、三師会員の意見交換、相互理解、親睦の花がそこ此処で満開となった。歌い肩組ながらの盛会となったが、注しつ注されつ、より深く堪能した冷酒は、出席者に数日の余韻を残したものと思われる。

(玉木)



### 檜原地区 内田萬次会員 読売『医療功労賞』を受章

檜原村 内田萬次会員が、永年の僻地医療への貢献を表され読売『医療功労賞』を受章された。内田会員の檜原地域医療への足跡は、先に刊行された西多摩医師会80周年記念誌に寄せられた随想『檜原村の二十七年』の中に綴られているが、日常診療に留まらず、上水道の整備による寄生虫疾患の予防、予防接種、成人病検診、精神衛生相談等への取り組み、自治医科大との人的交流、檜原村『やすらぎの里』計画への参画、特別養護老人ホームの管理等々多岐に渡る貢献をされておられる。受章を祝し、西多摩医師会役員が4月16日(日)パレスホテル立川の中華料理店『瑞麟』にてお祝いの小宴を催したが、内田会員の地域医療に関する確固とした意志、年令を越えた情熱を伺い、出席者一同心を新たにするとともに、内田会員の益々の活躍を祈念しなごやかな祝宴となった。

(広報部)





## 私の意見

# 理非曲直

りひきよくちよく

## 総会は、会員の意向を反映し得るか？

福生市 中村 武

平成6年度西多摩医師会第2回定時総会に出席して得た感想は、現執行部と議長の運営如何では『総会は、役員と総会成立の定数を満たす委任状があれば、会員出席の必要は全くなく完全に形骸化してしまう』と言うものであった。この実態は、主権者たる会員が出席し発言することの無意味さを痛感させ役員に対し憤懣の情を抱かせる結果に終わった。

その事実を記載し、それに関連する二、三の事柄についても考察を加えてみた。

問題とするのは、

審議事項：第3号議案

〈生命保険事務手数料（以下 手数料）を互助会会計に繰り入れにつき承認を求める件〉

の審議、承認の実態である。

### § 1. 手数料

手数料は医師会会計に帰属することは承認済みであり、従来は、別途積立金として会員に報告されていた。此を廃止し、社団法人の経理に属する金銭を人格のない親睦団体の互助会会計に繰り入れると言う不合理なことを敢えて実施せんとする目的について、会員に詳細な説明がなされていない。

この不合理性、目的の不鮮明性そして早急に結論づける必要性に乏しいことから、会員の発言の全ては、反対ないしは執行部の深層の目的とするところを明白にして地区会を経由する等の工夫により会員の意見を集約して理事会で慎重審議し、再度提起すべきであるとの趣旨であった。にも拘らず議長並びに役員は委任状の数を盾にとり議決承認に持ち込んだのである。この事実、出席した主権者たる会員の過半数が社団法人たる医師会が社会的正当性のある施策を要望していることを無視し、執行部役員及び議長が総会を形骸化し勝手な考えを会員に押し付ける手段として、総会を利用したものに他ならない。

総会で決議したと言うことは、この成り行きによってはこの金銭の移管は反社会的問題となり、執行部の深層の目的を知らされずに漠然と委任状を提出した会員をそれに巻き込む危険性のあることを役員は銘記すべきである。

### § 2. 議題は全く〈審議事項〉であった。

審議の意味を述べる気は毛頭もないが、その場になくは審議に加ることが出来ないのは当然である。議題提出の理由を判断し納得出来る明確な説明を会員に提示している場合を除き、総会の場における質疑応答を通じて自己の態度を決めることが主権者たる会員の責務であろう。理非を考えることなく委任状を提出すればよしとする医師会に対して白切った会員の行動も総会の形骸

化に無関係ではない。

### § 3. 委任状

審議議案については、その目的、理由など包み隠すことなく会員に提示し、会員が熟慮し判断する根拠を提供すべきであることは記述した。

そもそも、委任状は『やむを得ない理由で出席できない場合』に使用するものであり、審議に臨んだ11名以外の全ての会員にやむを得ない理由があったとは考えにくい。此の現象は、会員の医師会ばなれ、医師会に対しての無関心を物語る以外のなにものでもないと考えられる。執行部は、此の現状を信任されていると己に都合よく誤信すべきではない。

委任状を決議に使用することは、規則に基づいたものであることは疑いの余地はない。しかし、出席会員の発言はすべて否定的であった今回の場合、これを一方的に多数決で排除するのではなく、総会議事規則第9条再提案を適用し、血の通った規則運用をすべきであったと思う。

会員の医師会に対し冷めきった現況にあっては、毎回の総会において議題の如何に拘らず執行部に委任する自主性のない形式的委任状数は審議に参加する会員数を遙かに越えることは確実である。したがって、審議に参加し、意見、見解を申し述べても、それが議長と執行部の連携の意思に沿わないものであれば終局のところ数に押し切れられ喋り損になる。

とすれば、誰も好き好んで総会に出席する会員もいなくなり、究極のところ総会は完全に形骸化し、執行部と委任状だけで成立し、医師会は『総会の決議に基づいた』として執行部の意のままに運営される事になる。

### § 4. 地区会

西多摩医師会の活性化を理念に改正されたのが現行の定款であり施行規則である。その基本となるものは地区会であり、役員を選任も地区会を原点としている。

現執行部はこの原点を咀嚼していないのか故意に無視しているとしか考えられない。

西多摩医師会が円滑に運用されることを希望し、現執行部の発足以来、地区会の活用を機会あるごとに要望し続けて来た。

80周年祝賀に際しては、執行部のみで早々に会場を立川市内に決定してしまった。会を挙げての祝賀会にするために、未だ時間的余裕もあるから速やかに地区会で会員の意見を聴取しその最大公約数をもって開催地を決定すべきであるとする会員の声を取り上げることなく強行した。

その行事の資金についても、総会運営の不手際から再度の臨時総会開催要求が会員から出されたが、これもまた強引に撥ね付けたものの結局は監督官庁の指導で開催したと言う会員を逆撫でしたような醜態を演じた。

これらを経験した執行部であるから、多少は反省、改善、進歩の姿勢が窺えることを期待していたが、それよりも楽観的であったことを思い知らされた。

過去に、この様な頑迷な、会員の声に耳をかきなかった執行部の存在は記憶にない。

執行部と主権者即ち会員とは対立関係にあるものでないことは当然である。しかしながら、現執行部は会員に対し上位意識が強すぎ、理事会が会運営の全てを司り理事会で決めた議案は絶対に成立せしめなければ沽券にかかわると言うような固定観念があるように思われる。

役員は、地区会から推されたことの意義の原点に戻り、もっと肩の力を抜き、時には会員の立場になり己の言動を反省し大局的には会員の声を吸収して会の運営に反映させる心の余裕を持って欲しいものである。

理事会で扱う諸問題を全て地区会に下ろすことを望んでいるのではない。何を地区会に回して会員の声を聞くかは三役或いは総務に課せられた気配りであり職務である。

規則を幾ら改正しても、それを運用する者の人間性により結果の善悪は左右される。併し、現況を打破し、少なくとも総会の形骸化を阻止するためには、施行規則の一部手直しも必要ではないかと考える。

終

# お知らせ

## 事務局より お知らせ

6月（5月診療分）の

保険請求書類提出日

**6月8日(木)**

—— 正午迄です。 ——

### 法律相談

西多摩医師会顧問弁護士 鈴木禧八先生による法律相談を毎月第2水曜日午後2時より実施しておりますのでお気軽にご相談下さい。

- ◎ 相談日 5月は10日(水)  
6月は14日(水)の予定です。
  - ◎ 場所 西多摩医師会館和室
  - ◎ 内容 医療、土地、金銭貸借、親族、相続問題等民事、刑事に関するどのようなものでも結構です。
  - ◎ 相談料 無料(但し相談を超える場合は別途)
  - ◎ 申込方法 事前に医師会事務局迄お申込み願います。
- (注) 先生の都合で相談日を変更することもあります。

## 原稿募集

表紙の絵画・写真、御意見、文芸、随筆、諸事百般……投稿自由

毎月15日 〆切

事務局又は広報委員まで



## 表紙のことば

## 『スキー小屋にて』

有名な鹿沢でもなく、野沢でもない鹿野沢スキー場。それは、みなかみ駅近くの町並の裏にあるちっぽけなスキー場である。そこは、僕のスキーのふるさとである。

1950年、大学2年の冬、スキーというものをやってみようと、これも話でしかスキーを知らなかった級友と2人で、大学の寮があった谷川温泉に出かけた。

寮で、使い古して流木のようになったスキーを貸してくれた。近くに谷川スキー場と称する小さな広場があったが、看板もなく設備もなく、誰も居なかった。

町に下りればちゃんとしたスキー場があるというので、30分ばかりスキーをかついで行った所が「鹿野沢スキー場」だった。さすがに、スキー小屋があった。古びた粗末な木小屋だったが、スケッチしたくなるような雰囲気があった。

以来45年、青梅に来てから20年のブランクがあり、行ってもせいぜい年1回であるが、懲りずにスキーをやっている。

石井好明

## あとがき

最近、日本らい学会がらい病に対するいわれない社会的差別に加担して来たとして、らい予防法を放置してきたことを反省し、その廃止を決議したことが新聞に取り上げられていました。らい病がむしろ伝播しにくい感染症であり、化学療法によって完全治癒するものであることは、ご存じのとおりです。らい病自体かなり少なくなってきたこともこうした決議になったのでしょう。しかし、たとえばエイズ、慢性肝炎、MRSAなどはどうでしょう。問題はうつりやすいかどうかではなく、社会防衛的考え方の危険性が問われているように思います。以前、アジアの国々からの出稼ぎの人々が西多摩にも大勢いましたが、あるドクターは「なにをするかわからない。帰ってもらわなければ。」と広言していました。自分たちと違うもの、少しでも自分たちに危害を加えそうなものを排除する、隔離する。そのことで安心し、仲間意識を高めるといふ社会防衛的差別意識は我々医者の間にも根強く存在します。精神的肉体的ハンデキャップを持った人々に対して、つまり医者の対象となる人々をどう考えているのか、一度自問自答してみたいものです。

(K)



社団法人 西多摩医師会

平成7年5月1日発行

会長 松原貞一 〒198 東京都青梅市西分3-103 TEL 0428(23)2171・FAX 0428(24)1615

会報編集委員会 玉木一弘

石井好明 奥野 仁 片平潤一 小机敏昭

高水松夫 樋口昭夫 道又正達 山川淳二

印刷所 マスタ印刷 TEL 0428(22)3047・FAX 0428(22)9993

RETAIL BANK  
あさひ銀行

あなたの街の  
あさひです。



あさひ銀行

東青梅支店	TEL.0428-22-2121(代) 〒198	青梅市東青梅2-17-4
奥多摩 特別出張所	TEL.0428-83-2515(代) 〒198-02	西多摩郡奥多摩町水川1421
青梅支店	TEL.0428-22-1101(代) 〒198	青梅市青梅295
河辺支店	TEL.0428-24-2401(代) 〒198	青梅市河辺町10-2-9
福生支店	TEL.0425-51-1021(代) 〒197	福生市福生1048
村山支店	TEL.0425-61-1211(代) 〒208	武蔵村山市中藤4234
秋川支店	TEL.0425-58-2611(代) 〒197	秋川市下代継111-5
羽村支店	TEL.0425-79-0881(代) 〒205	羽村市五ノ神4-13-10
五日市支店	TEL.0425-96-1311(代) 〒190-01	西多摩郡五日市町五日市840-1

最新のテクノロジーが計測します  
そして、人の眼と心が記録します



臨床検査のパイオニア  
保健科学研究所

本社 〒240 横浜市保土ヶ谷区神戸町106 TEL/045-333-1881(大代表)  
仙台支社 〒983 仙台市宮城野区期町1-3-5 TEL/022-238-9345(大代表)